



子どもたちの学びを止めない

桂川町教育委員会

学校教育課

本県で発令されていきました「福岡コロナ警報」が、6月1日に解除されました。しかし、新型コロナウイルス感染症については、本町においても今なお警戒が必要な状況にあります。

このような中、教育委員会としては、継続的に子どもたちの教育を受ける権利を保障するため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、教育活動に前向きに取り組むよう指導しています。

桂川中学校では、5月に体育会を3年ぶりに開催することが出来ました。多くの制約のうえ、午前中のみの開催ではありましたが、生徒会テーマ「繋ぐ」のもと、生徒一人一人が活躍するすばらしい体育会となりました。

また、昨年の2年生時で実施できなかった関西方面への修学旅行も、3年生になった4月に、地域の感染状況を慎重に見極め、広島・山口方面へと目的地を変更し、感染防止対策を徹底して実施することが出来ました。

小学校の長崎方面への修学旅行も、昨年

は何度か延期して実施しましたが、今年は当初の計画通り、桂川東小学校は5月26日～27日、桂川小学校は6月15日～16日に実施することが出来ました。

修学旅行を通して、子どもたちは、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活のあり方や、公衆道徳などについての体験を積むことが出来ました。

さらに、水泳指導につきましては、近隣ではすでに中止している学校もあります。が、本町では、「三つの密」の回避を含め、基本的な感染防止対策を徹底できるのであれば、実施可能としています。実際に、水泳指導時の使用人数や入水前後の健康観察、更衣室等の制限のうえ、各学校で実施していますが、このような取組が活かされたのか、本町ではこれまで水泳指導における新型コロナウイルスへの感染拡大は確認されていません。

このように、全校や学年など大きな集団で、子どもたちが協力して行う学校行事において、仲間と一緒に感動した本物の体験は、学校生活を豊かにします。また、子どもたちが所属感や連帯感を実感すること、共生社会の担い手を育てることにつながります。

今回の新型コロナウイルス感染症の拡大はこれまでにないことで、教育委員会も



学校・幼稚園もその対応に試行錯誤している状況ですが、子どもたちの健康・安全を確保していくことを最優先に考え、教育活動が発展していくよう取り組んでまいります。

保護者の方々、地域住民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。